

半切四分の一に書くⅡ(4)

締切り 四月二十四日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことで、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 博学而不窮(礼記)

〔大意〕 広く学んで止まることがない。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。
 ◎楷書は誰にでも読めるだけに、平易に思われがちですが、実は書写には最もむづかしい書体です。基本点画を繰り返し学び、一ミリ以下の誤差をも、おろそかにしない集中力が必要です。



おくむらのぶゆき 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おおたにせいじょう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範⇨行書
 ▼師範⇨楷書

◆5月課題予告(行草または草書)
 言葉を正確に
 使えないことは
 思想も精神も曖昧だ

★哲学は…(書体⇨楷書)
 唐木順三(一九〇四〜一九八〇)
 哲学者
 こうした考え方でよいのか、この様な現実でよいのかと疑い続け、批判するところから本来の学問としての哲学が始まると言っています。
 全ての学問に志す者の姿勢として何が真なのか疑い続けてこそ哲学も学問も進歩するのではないのでしょうか。

◆5月課題予告(楷書)
 行き詰まりは
 展開の一步である
 吉川英治

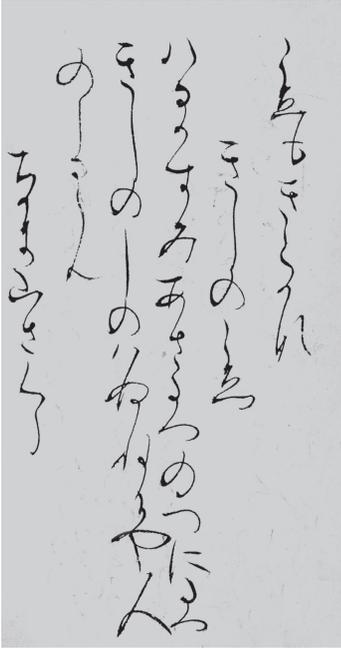
★樂觀は…(書体⇨行書)
 「ユダヤの格言」
 悲観は狭量で、物事を拒みますが、樂觀は寛容であり、多くの者を迎え入れる包容力があります。それによって自分を変え、周囲を明るくし、現実を変化させる力を持つことができます。
 ユダヤ人が過酷な迫害に屈せず、今日各界で成功を収めているのは樂觀するだけの力があつたからでしょう。

締切り 四月二十四日(必着)

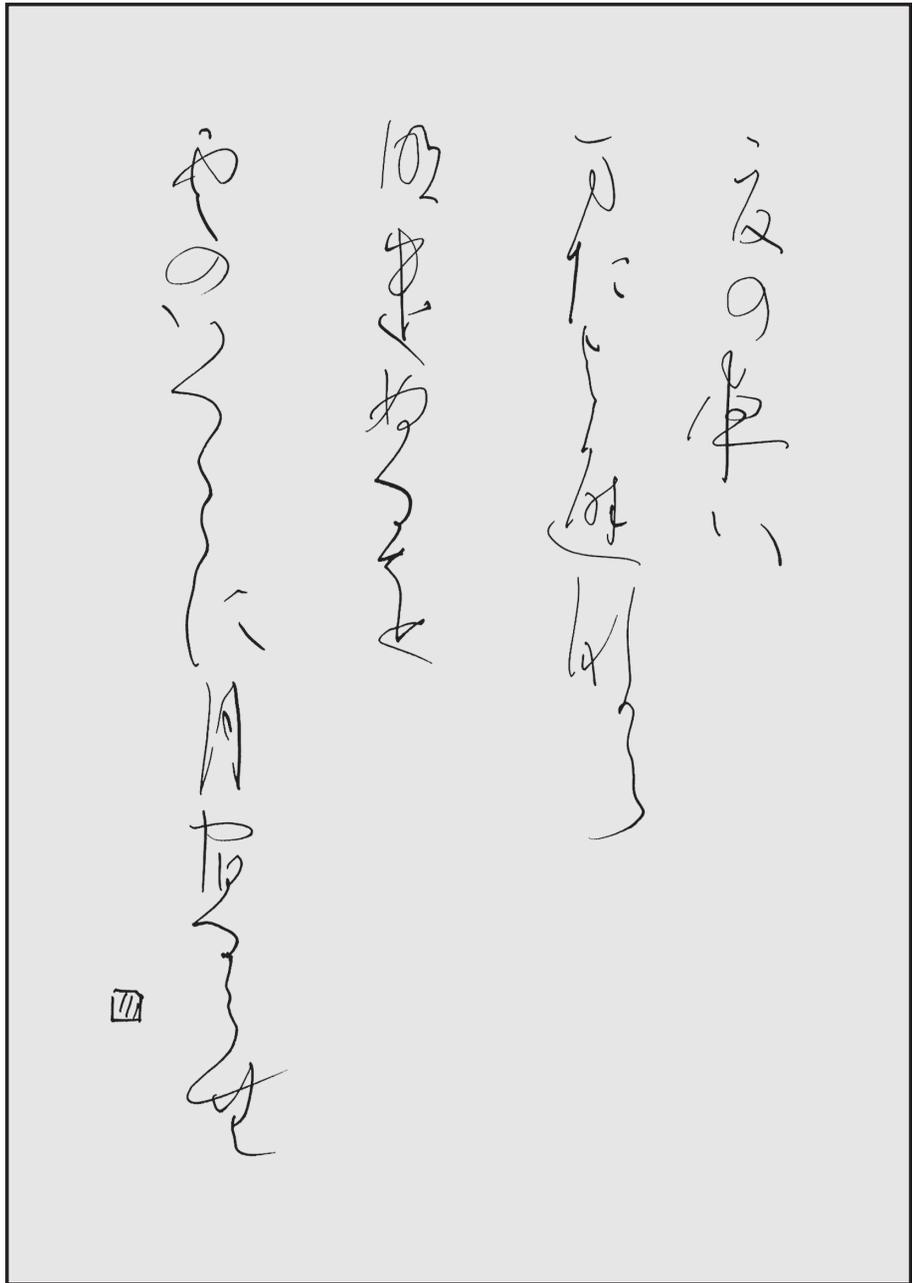
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

なかつかさしゅう
中務集



こゑもきくかな
きじのこゑ
はるがすみあさたつのべにたつきじのしのばぬねにや人のしるらん
ちかき山ざくら



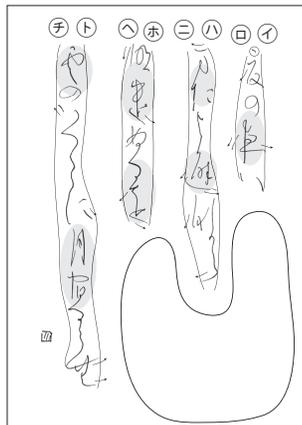
夏の夜はまだよひながら明けぬるを雲のいづこに月やどるらむ

〔歌意〕夏の夜は短くて、まだ宵と思っているうちに明け方になってしまったけれど、これでは月は、いったい雲のどのあたりに宿をとるのたろう。

〔出典〕古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、②と⑧、②と⑨、②と⑩、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、③と⑧、③と⑨、③と⑩、④と⑤、④と⑥、④と⑦、④と⑧、④と⑨、④と⑩、⑤と⑥、⑤と⑦、⑤と⑧、⑤と⑨、⑤と⑩、⑥と⑦、⑥と⑧、⑥と⑨、⑥と⑩、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑧と⑨、⑧と⑩、⑨と⑩、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- 密の部分大切。
- の動きで面構成が決まる。
- の方向、指向性で面がまとまる。

◆5月課題予告

暮るるかと思れば明けぬる夏の夜をあかずとや鳴く山時鳥

締切り 4月24日(必着)

お陰さまで新生活も無事スタート
しました。素敵なお祝いを有難う
ございました。形ばかりですが、
内祝いの品をお送りしましたので
ご笑納下さい。今後共お付き合い
の程、お願い申し上げます。

お陰さまで新生活も無事スタート
しました。素敵なお祝いを有難う
ございました。形ばかりですが、
内祝いの品をお送りしましたので
ご笑納下さい。今後共お付き合い
の程、お願い申し上げます。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 尾 郷 すい 翠 光 書

江戸城は、1590年家康入城以来
徳川幕府300年の居城であった。

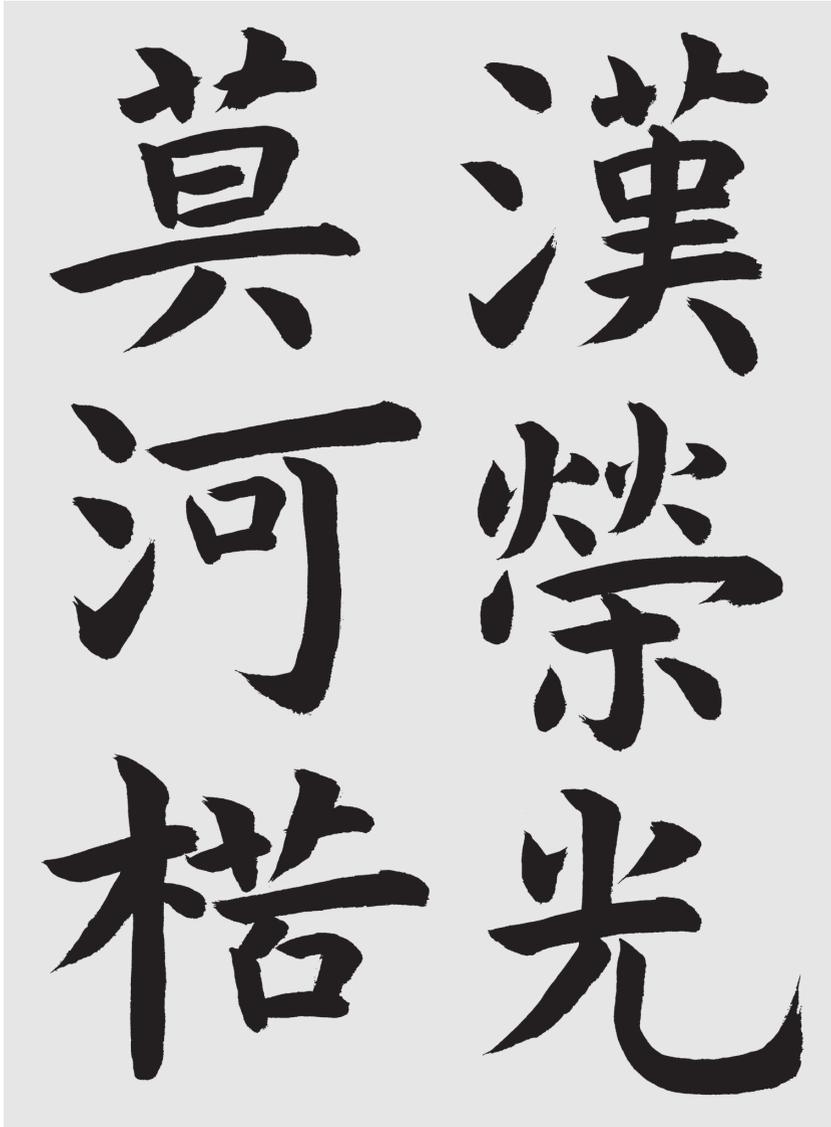
鹿児島県奄美市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 4月24日(必着)

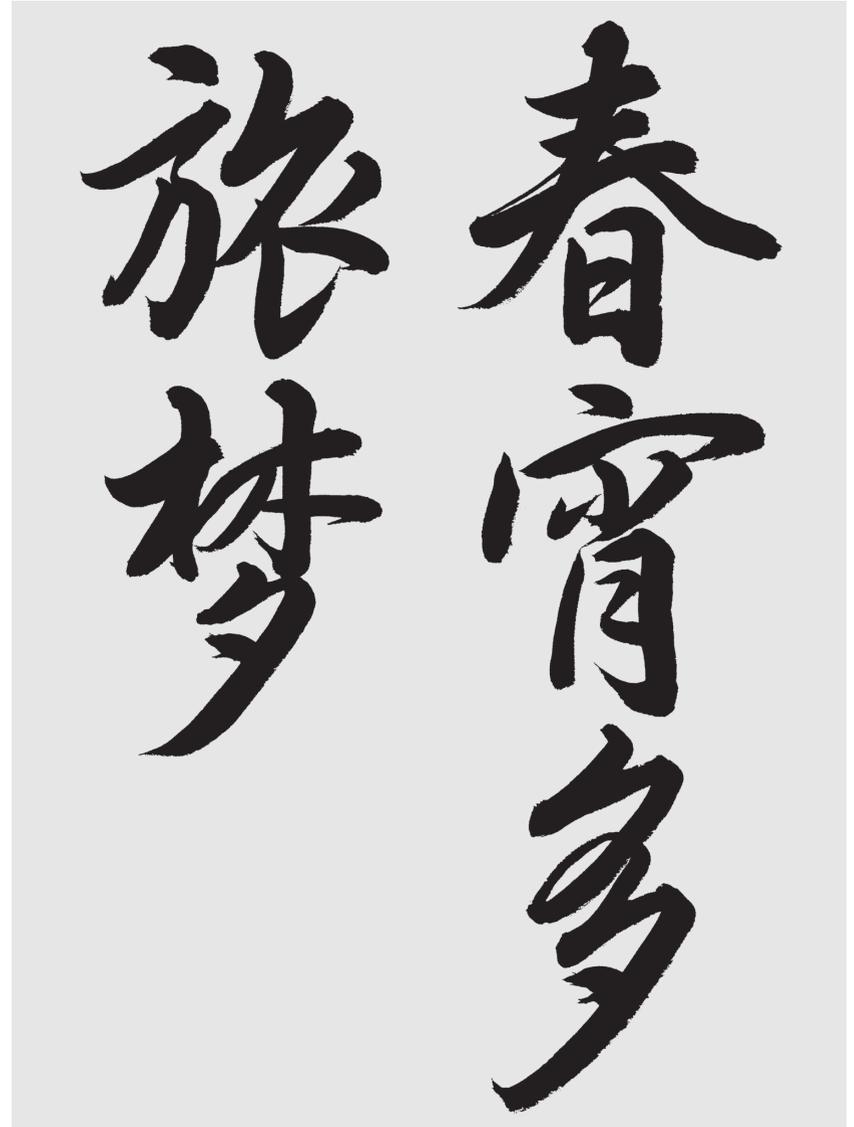
漢
榮
光
莫
河
楛



準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）
〔読み〕漢に（浮かび、）榮光河に莫たり。楛（矢東に）



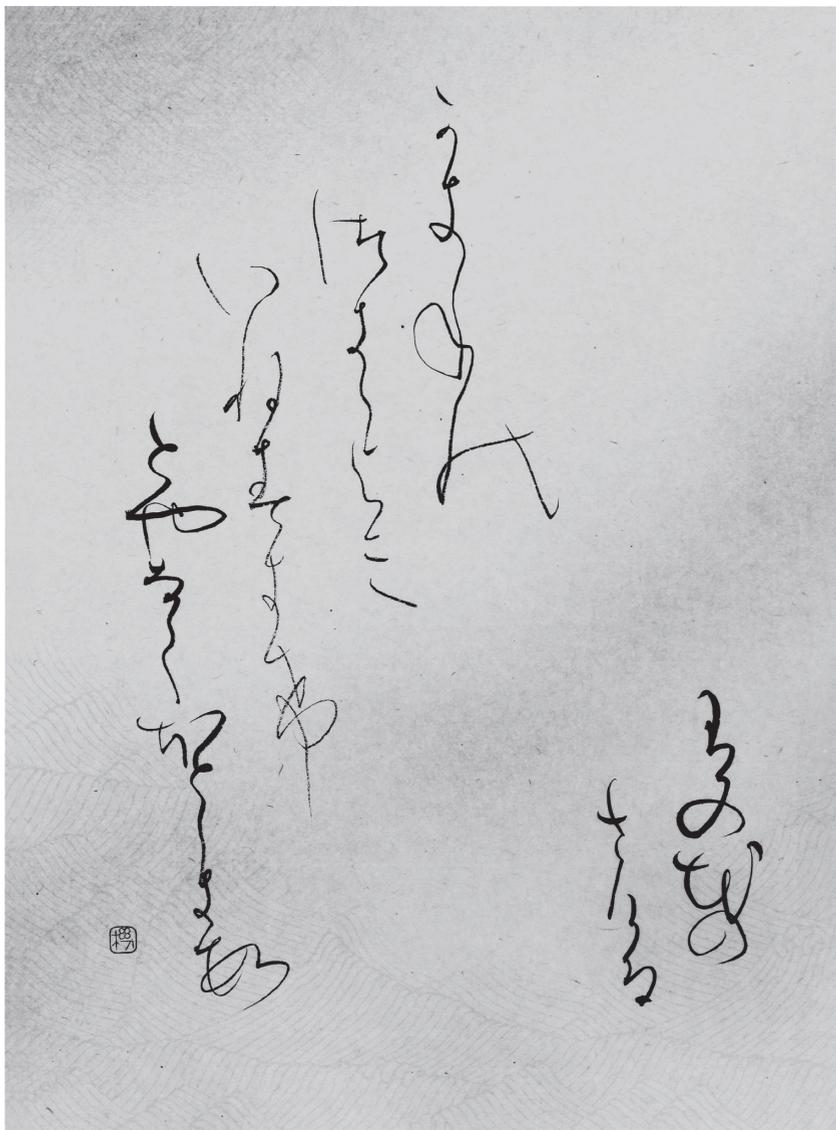
新入から1級まで（行書）

須田一葉書

〔読み〕春宵旅夢多し
〔大意〕春の宵は旅人にとって夢のような風情がある。

一般部毛筆かな課題

締切り 4月24日(必着)



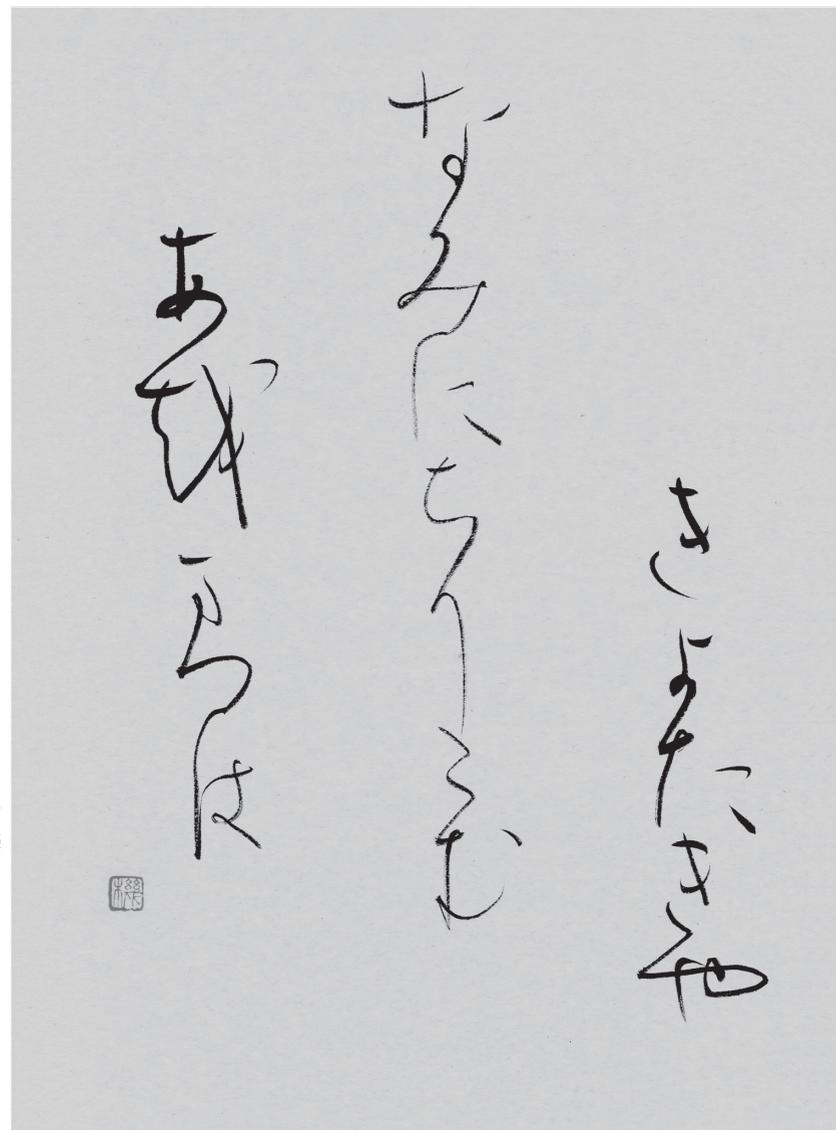
有介可支年能徒支与三
卯の花のさける垣根の月清み
春文希奈本と支敷
いねずきけとや鳴く郭公

〔出典〕 読み人知らず

〔歌意〕 卯の花の咲いた垣根に、折からの月が清らかに照らしているので、寝ずに聞けというのだろうか。しきりにホトトギスの声がかかることだ。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



きよたきなみ
清滝や波にちり込青松葉

〔出典〕 まつお ばしろう
松尾芭蕉

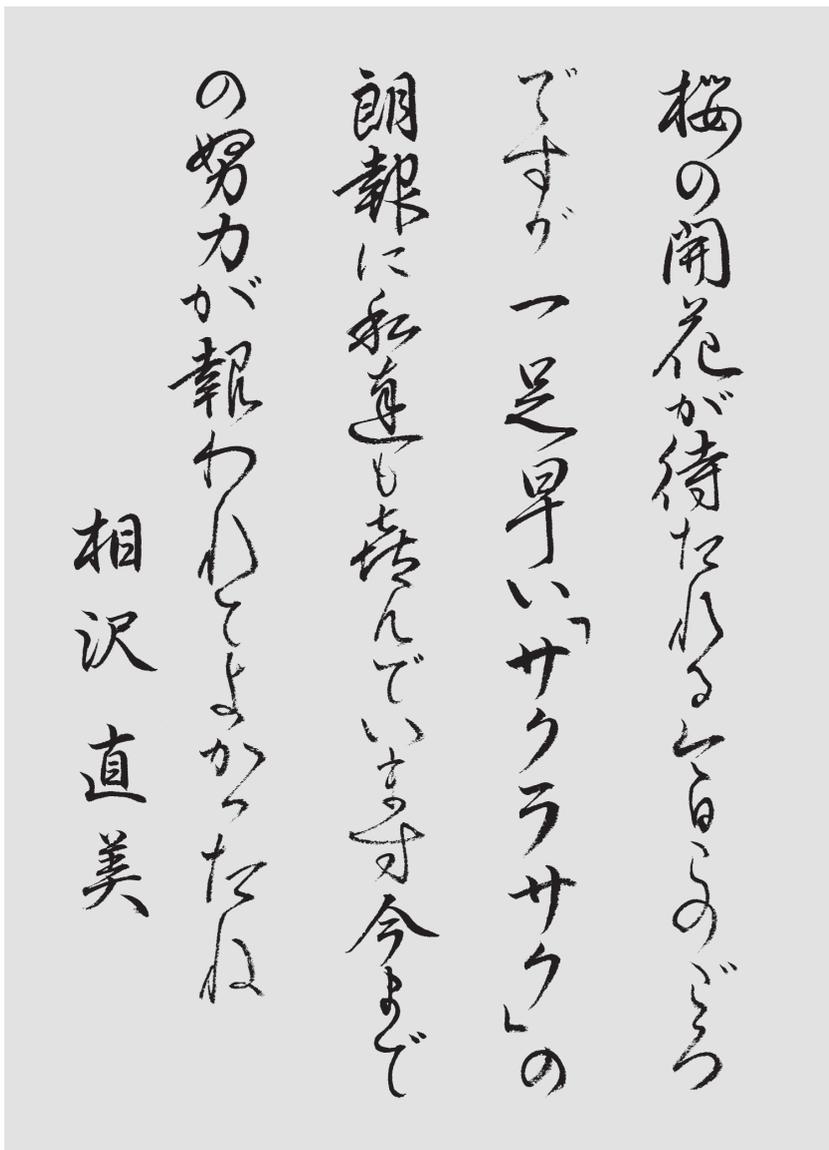
〔句意〕 清滝川の流れは、その名が示すとおり清らかなその青い波の上
に、松の青葉が散り込んでいく。何と清涼なことだ。

新入から1級まで

浅井機山先生書

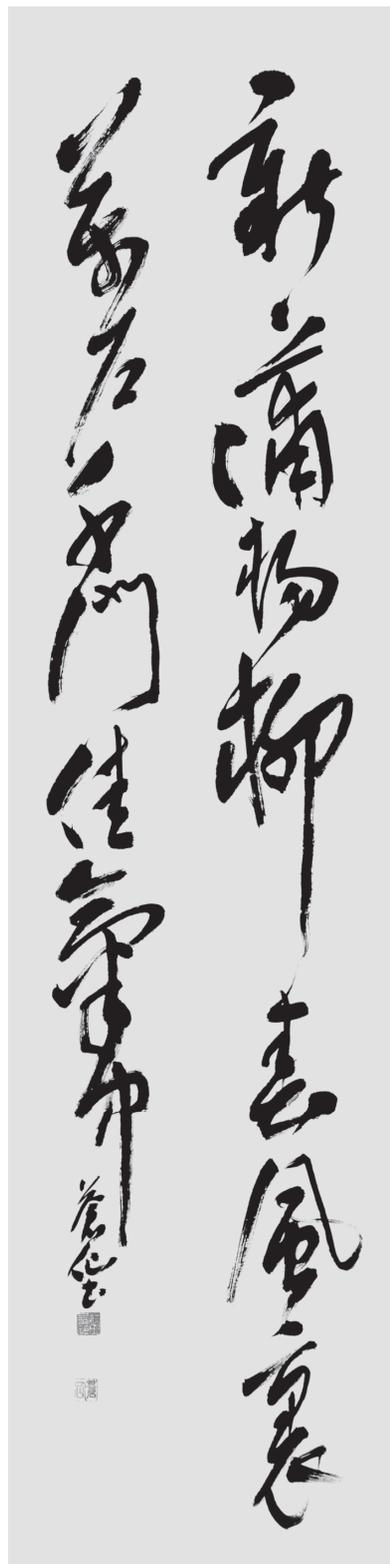
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 四月二十四日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻 田 蒼 仙 書

新蒲柳柳春風裏
萬戸千門佳氣中
李方叔

〔大意〕でたての蒲や新柳は春風吹く中に生じて美しく、多くの家々は瑞気がこめる中に見える。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕明治大学の島岡監督、「野球を通して有為な社会人作りを志しているが、それでたまたま優勝した」この言葉に胸をうたれ、書を教えたきたが、私の力では及ぶすべもなく一歩も近づけないで老いばれました。でも私の事故を機に一歩から出直す決意、年齢なんか言っておれない！

桜の開花が待たれる今日このごろですが、一足早い「サクラサク」の朗報に私達も喜んでいます。今までの努力が報われてよかったですね。

() (自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

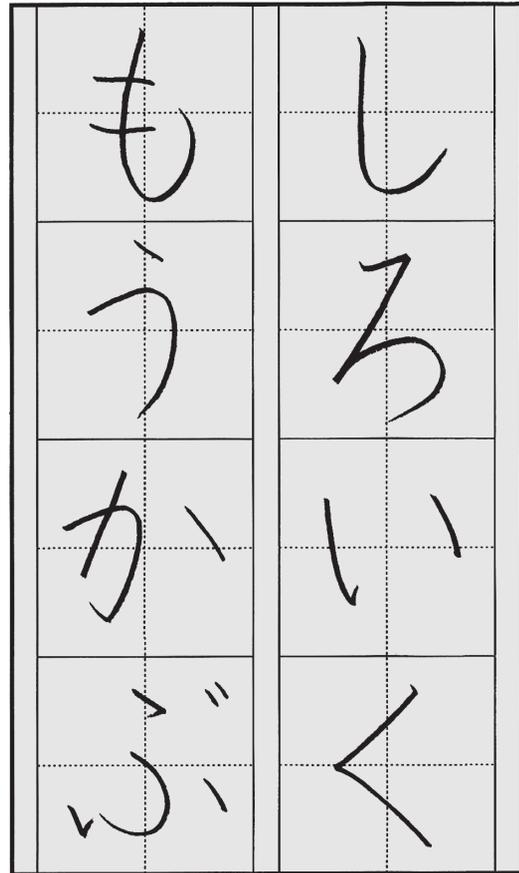
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

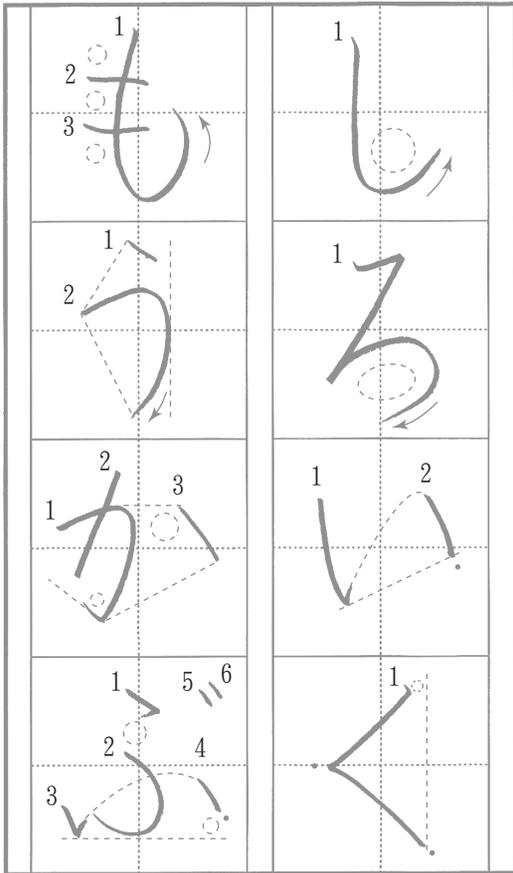
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

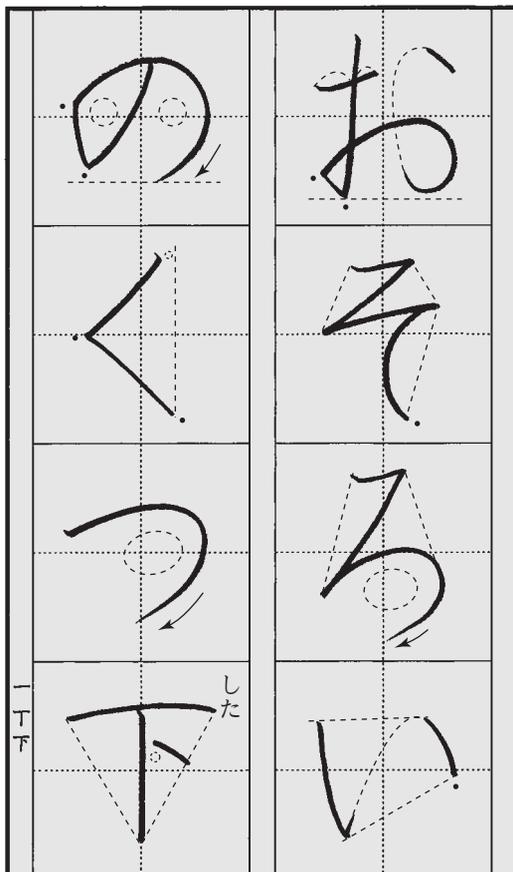
新
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

を	魚 (いぬ)
買 (か)	と
つ	イ
た	カ

新入〜1級

を	て	近
買	魚	く
つ	と	の
た	イ	お
よ	カ	店

新小二年
準初段以上

に	犬 (いぬ)
遊 (あそ)	と
ん	元 (ゲン)
だ	気 (キ)

新入〜1級

つ	と	野
て	元	原
遊	気	で
ん	に	子
だ	走	犬

新小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新小四年

ま え 前	ま え 前	ま え 前	ま え 前
お ぼ 覚	お ぼ 覚	お ぼ 覚	お ぼ 覚
え	え	え	え
な 名	な 名	な 名	な 名

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法が続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

新小五年

電	な	周
灯	り	井
と	校	が
も	舎	暗
る	の	く

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

シ ョウ 周	シ ョウ 周	シ ョウ 周	シ ョウ 周
イ 井	イ 井	イ 井	イ 井
くら(い) 暗	くら(い) 暗	くら(い) 暗	くら(い) 暗
コウ 校	コウ 校	コウ 校	コウ 校

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

樹	おお
植	どおり
事	ガイ
賛	路

解説(よく見て習いましょう)

る	路	大
事	樹	通
に	を	り
賛	植	に
成	え	街

新小六年

(全員)

形	称	左
状	で	右
の	斬	が
帽	新	非
子	な	対

新中二・三年

(行書)

が	駅	終
到	に	点
着	新	の
し	幹	福
た	線	岡

新中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 田代華光書

始	運	じ	時	い
め	動	ゆ	間	つ
て	か	ん	の	も
い	ら	び	と	体
ま			き	育
す			は	の

◎お手本はえんぴつ使用



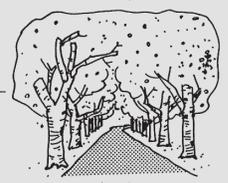
しめきり 4月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 清水希光書

登	同	ト	桜	校
校	級	ン	並	門
し	生	ネ	木	に
ま	の	ル	の	続
す	友	を		く
	達			
	と			

※友達＝単語としてこのように読みます。



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小二

イカ

幼年〜新小二年
水野碧友書

せい

し

つ し

カ く
しっかりおれる

小一

く つ



新小三〜新小五年

たまきしょうか
樹小華書

中二・三

対称

小六

賛成

新小六(新中二・三年)

水野香竹書

着

賛

中一

到着

対

成

※行書は線の連なりを大切に!

称

到